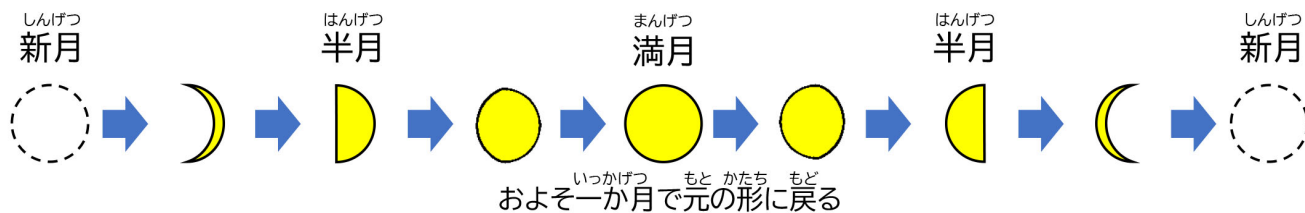


No. 516

じょうげん つき かげん つき
上弦の月 下弦の月



じょうげん つき
上弦の月

み じかん
見える時間

ゆうがた よる じころ
夕方～夜12時頃



まんげつ
満月

ひとばんじゅう
一晩中



かげん つき
下弦の月

よる じころ あ がた
夜12時頃～明け方

図1 月の満ち欠けと、上弦の月・下弦の月

人気マンガで「上弦」・「下弦」という言葉が使われ、よく聞くようになりましたね。これらは「半月」に対する名前です(図1)。

月は毎日その形が変わって見え、およそ一か月で元の形に戻ります。その中で、丸の半分の形になる「半月」が2回あります。新月をスタートとして、最初の半月を「上弦の月」、そこから日が進んで後にくる半月を「下弦の月」と言います。ここでの「上」と「下」は、前後の順番を表しています。また「弦」とは弓に張ってある糸のことで(図2)、月の欠けているところがまっすぐなのは半月の時しかなく、これを弓の弦と見たのです。

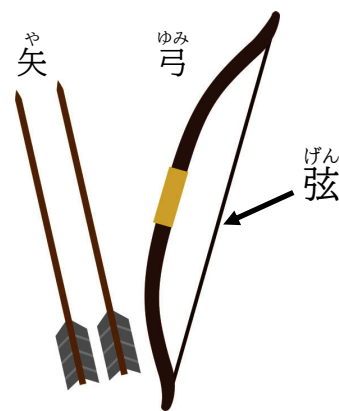


図2 半月を弓の形に見ました

上弦の月と下弦の月では見える時間が違い、夕方に見えるのが上弦の月、明け方に見えるのが下弦の月です。また半月のどちら側が光るかは、太陽との位置関係で決まります。上弦の月が見えるとき太陽は西の地面の下にあるので、西側、つまり右側が光ります。全集中で観察してみましょう。(天文担当 林 忠史)

今月のかがくのギモン：上弦の月のとき、月にあるウサギの餅つきの模様のうち、どこが見える？ (答えは当館ホームページをごらんください。)